海の星

浜松海の星高等学校通信　2016年度　No. 2

H28. 4. 30 発行

学校長挨拶　― 親離れ、子離れ ―

校長　重信明利

ニートと呼ばれる人種が現れるようになって久しいですが、今日も生活面で親に依存している社会人は増え続けています。

イエスも実は故郷ナザレを出る 30 歳位までは母マリアとともに大工として生活していたとされますが、ヨルダン川でヨハネから洗礼を受けた後は、母のもとを去って福音の生活に入っていきます。ファリサイ人から「夫が妻を離縁することが律法に適っているか」と尋ねられた時、イエスはこんなことを言っています。

「あなたたちは読んだことがないのか。創造主は初めから人を男と女とにお造りになった。
それゆえ、人は父母を離れてその妻と結ばれ、二人は一体となる。
（マタイによる福音書 19 章 4～5 節）」

ニートが増え、今日のように結婚しない男女が増えている現実は、実は神の本位とするものではないようです。結婚の是非についてここでは論じませんが、イエスがマリアのもとを離れたように、人間はまず、親もとを離れ、独立していかなければならず、親も、子供が大人になればある意味、子供から独立しなければならないということが神の考える自然の摂理なのです。親にパラサイトしている大人が増え、この摂理に妨げが生じることになれば、人類の存在そのものが危ぶまれることになります。

子供の独立とともに「親の独立」も真剣に考えなければならないと思う今日この頃です。

年間留学生と夏期短期海外研修の紹介

国際交流　中村隆之

AFS 年間留学生の様子

今年もAFS(留学団体)からの外国人留学生が、3月の終わりに来日しました。マレーシア人のマックスさんです。3月31日(木)に初めて本校に通学し、オリエンテーションや制服採寸を行いました。母親が中国人で中国語が母語ということもあり、校内の掲示物を見ては、書かれている漢字からその意味を推察していました。日本語もある程度は聞いたり話したりできます。英語に関してはネイティブ並みに上手です。クラスは2年松組に入ります。同じ17歳の日本人の生徒たちと共に学び遊び交流を深め、約10ヵ月間で貴重な体験をしてもらいたいと願っております。

夏期海外研修（夏期休暇中の短期留学）について

今年度はアメリカ研修が行われます。先日、詳細について説明会を行いました。

１年生から３年生までのすべてのコースの生徒が対象です。期間は７月22日～８月５日です。

春季遠足　報告

4月25日（月）に遠足が実施され、1年生は**つま恋**、2年生は**明治村**、3年生は**ナガシマスパーランド**へ出かけました。晴天にも恵まれ、クラスの仲間と良い時間を過ごすことができました。

生徒部より　―浜松祭り及び連休中の諸注意―　　生徒部長　　鬼石勇樹

新年度がスタートして、生徒たちはそれぞれの目標に向かって学校生活を送っています。特に運動部の３年生は高校最後のインターハイ予選を目前にして、毎日の練習にも力が入っています。この連休中に、予選が始まる競技もありますので、ぜひ温かい声援を送っていただきたいと思います。また、恒例の「浜松祭り」に参加する生徒もいます。心身ともにリフレッシュして、有意義な休暇になるようご家庭でもご協力をお願い致します。

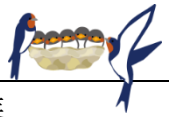
過日の全校集会で下記のような「浜松祭り」及び連休中の諸注意について生徒に話をしましたので、ご家庭でもご指導よろしくお願いいたします。

記

- 浜松祭りへの参加は指定の申請書にて許可を得た生徒のみとし、無許可の参加は補導の対象となります。
- 祭りを見学するときは高校生にふさわしい服装・態度とし、問題行動や事故に巻き込まれないように注意する。
- 祭りは 21:00 に終了するので、それ以後の単独行動は補導の対象となります。
- 女子生徒の単独外出時間は 20:00 までとし、それ以降は必ず保護者の同伴が必要です。
- 未成年の飲酒・喫煙は法律で禁止されています。お祭りだから、許されるということは絶対にありません。
- 友人宅への外泊は禁止します。
- その他、迷惑行為や非行に類することは絶対にしない。
- スマートフォンを含む携帯電話に依存するような生活はしない。また、SNS（Facebook・Twitter など）や無料通信メールアプリ LINE の利用は、ルール・マナーを守り、使用時間などに制限を設けるなどして使用する。
- 公共の場では、マナーを守り周囲に迷惑をかけない。

以上

５月の行事予定



※PTA 総会　―５月７日（土）13:30～体育館にて―

2	月	45分短縮授業	12	木	尿検査3次
3	日	【憲法記念日】	13	金	[PM]眼科検診
4	月	【みどりの日】	17	火	[LHR]夏服引き渡し（1学年） 選挙について(2・3学年)
5	火	【こどもの日】			
7	土	[AM]45 分短縮授業　[PM]PTA総会	21	土	[AM]授業
10	火	[LHR]思春期セミナー（1学年）	23	月	中間試験（～25(水)）
11	水	≪委員会≫	31	火	[LHR]マリア祭※

※“マリア祭”花集めのお願い

カトリック教会では、5月を“聖母マリアの月”としています。5月 31 日（火/LHR）に行われるマリア祭に向けて、祭壇のマリア像に供える飾花を５月 30 日（月）生徒1人につき1～2本回収しますので、各ご家庭でご用意ください。

各担当者からのメッセージ

✎進路部より　－３年生の保護者の皆様へ－　　進路部長　　佐藤大介

親子そろって進路に対して真剣に向き合わなければならない時期が到来しました。今月は現在の主な試験制度をご紹介します。上から4番目の公募推薦入試まではこの1学期の過ごし方が大きく影響します。

AO入試：大学・短大・専門学校側（後：大学と記します）が求める学生を選抜する入試です。受験生が自分で志願し、大学側が書類審査や小論文試験、面接などで、受験生の学ぶ意欲や能力を見ます。学業成績に基準を設けないケースもありますが、何よりも「その大学で学びたい」という意欲や熱意が評価されます。学びたいことが明確な人に向いている試験制度です。

自己推薦入試：受験生自身が、自分の能力や実績をアピールし、大学側が学業成績と合わせて合否を決める入試です。学校長の推薦を必要としない学校が多いです。得意分野がある人、一芸に秀でた人、部活動で優秀な成績を収めた人に向いている試験制度です。

指定校推薦入試：大学が指定する特定の高校に限って募集をする入試です。指定を受けていない高校の生徒は受験することができません。勉強や部活の成績などを評価して、校内選考を行います。志望する学校が本校を指定してくれている場合には、お薦めの入試制度です。該当校一覧表はPTA総会の日に配布する「進路のしおり」に載せてありますのでご確認ください。

公募推薦入試：推薦入試のメインの選抜方式です。大学が提示した出願条件を満たす人について、学校長の推薦に基づき、高校での成績や活動ぶり、面接や小論文、学力検査などを総合して合否を判定します。出願条件をクリアし、学校長の推薦が得られれば、誰でも受験できます。高校時代に打ち込んだものがある人や小論文が得意な人に向いている試験制度です。

一般入学試験：入学試験のメインの選抜方式です。3年次の最後まで勉強を続けながら学力で勝負する試験です。世間一般に『受験』といったらこれをイメージします。長時間学習をしながら自分と向き合っていくため、自分の行動や周囲に対する耐性が身に付きます。その経験は、自分に自信を与え、就職試験時においても役立つことが多いと言われています。国公立大学ではセンター試験と個別試験が課されます。私立大学では主として3教科受験が課されます。高い志と強い意志を持っている人に向いている試験制度です。

専門学校では、6月にはAO入試のエントリーが始まります。中にはオープンキャンパス時に、エントリーを強く勧める学校もあるようです。2学期に入ってからの出願でも充分間に合いますので、ご息女には、少なくとも3校以上比較した上でエントリーするように促してください。指定校推薦を利用した方が学費の面で優遇される場合もあります。焦ることなく、学校や入試制度を吟味し、ご息女に合った受験計画をお考えください。

✎教務部より　－1 年生の保護者の皆様へ－　　教務部長　　清水明子

入学からおよそ１か月が経ち、ご息女も高校生活のリズムに慣れてきたことと思います。保護者の皆様には、今改めてご息女の生活習慣を見つめ直していただきたいと思っております。高等学校は、義務教育ではなく、進級・卒業には下記の条件があります。

① 出席条件…学校・授業への出席日数・時数が出席すべき日数・時数の3分の2より多いこと

② 成績条件…各教科の得点が平均点の２分の1以上あること

これらをクリアするために、確認していただきたいことが、規則正しい生活を送れているかどうかということです。例えば、スマホやゲームなどにのめり込み、夜更かしをしていることはないでしょうか。これらは、翌日の遅刻や体調不良による欠席の原因となったり、授業における集中力の欠如、家庭学習時間の低下を招いたりします。新しくできた友達や中学時代の友達との LINE のやりとりは、楽しいことだとは思いますが、やりすぎは、本人のためになりません。これ以外のことでも、生活を見直して不都合なことが見つかりましたら、ご家庭でのルールを決めるなどして、ご息女の生活をサポートしてあげてください。よろしくお願いいたします。

✎TO１学年

１学年主任　土井則子

今年の 1 学年は遠足として「チームビルディング・プログラム」に参加しました。これは、チーム（クラス）が一つの目標に向かって、頭、心、身体全体を使って活動するとてもエキサイティングなプログラムです。そのプログラムの一つに、スクラムボードというものがありました。狭い板の上にクラス全員が乗り、その状態でカエルの歌を合唱するというものです。指導者からその課題を出題された時にはほぼ全員が口をそろえて、それは無理！絶対無理！と言っていたのですが、制限時間が刻一刻と迫ってくると、「爪先立ちをしようよ」「背の高い子が中央に行って、外回りの子の手を握ったらいいよ」とか様々な意見がでてきました。しかし、何度やってもうまくいきません。ところが、おふざけをしていた生徒も含め、クラス全員が真剣な表情になったその瞬間、全員が極小ボードの上に！！口早にかえるの大合唱が新緑の中響き渡り、終了時、誰が言うでもなくクラス全員から拍手喝采が沸き起こりました。合唱をしている生徒たちは、その小さなボード上で背筋をめいっぱい使い、自分の持っている力をそこに集中させ、互いの身体を腕で包み込むように支えあっていました。トライ・アンド・エラーを重ねての成功。本気になれば、真剣に何かに取り組めば、互いに協力し合えば、そして思いやりの心があれば、無理だと思っていたことも実はできるんだ、という実体験をすることができた遠足でした。

✎TO２学年

２学年主任　鈴木富美子

新年度が始まって 3 週間が経ちました。先週末には浜松駅付近であしなが学生募金活動があり、元気のよい声と明るい笑顔で募金を呼びかける姿がさわやかでした。また、遠足では明治村まで出かけ、移築された歴史的建造物を巡りつつ、新しいクラスメートと親睦を深めあう楽しげな様子が見られました。

今年度最初の学年集会では「２年生として言葉だけでなく、行動で伝えることのできるようになってほしい」という話をしました。大切なことを心に留めて、変えるべきことは変えながら目標に向かって自分の志に見合う努力をしてほしいと願っています。

保護者の皆さま、2 年生に進級してご息女のご家庭での様子はいかがでしょうか？5 月の PTA 総会の折にはクラス懇談会を行います。どうぞご来校ください。

✎TO３学年

３学年主任　砂子幸弘

この学年の生徒もあと数か月で卒業後の進路を決めなければなりません。昨年度からご連絡しておりますが、ご家庭では親子の会話はなされているでしょうか。進路に関して一番大切なことは経済的なことです。夢を持って進学を考えていた生徒が家庭の事情で働かざるを得なくなった例は少なくありません。専門学校から大学まで学校説明会やオープンキャンパスに行きますと、大きな夢を実現できるような華やかな施設や環境を紹介してくれます。その分、授業料はたとえそれが国公立大学でも、高校の諸経費とは比べ物にならないくらい高いものです。しかし学校によっては高校の成績や特技、実績等で納入額の 1 部が減額や免除になったり、学校独自の奨学金を借りたりできるところがあります。先日も奨学金の申請についての説明会に多くの生徒が集まりました。出願まぎわになって要項を見て「うちは無理なんで」では本人があまりにかわいそうです。親子でお互い譲れるところを相談してみてください。